

400年記念事業の報告

記念事業、盛大に開幕

— 宮下若槻小校長の講演に250人 —

北国街道が開通して400年を祝う若槻地区のイベントが、10月8日(土)の開幕式で幕を上げました。会場のコミュニティセンター体育館は、収容人員を超えそうな約250人の皆さんで大盛況。メインの宮下健司若槻小学校長の明快で説得力溢れる記念講演を熱心に聴き入っていました。



宮下若槻小学校長の講演

記念講演の演題は「北国街道の歴史と若槻」。宮下校長が手作りの資料を準備し、全員に配られました。これを参考に「新町宿」が担った歴史上の存在意義と役割について、時にはユーモアを交えて話されました。特に加賀・前田家を中心とした参勤交代の様子、佐渡の金銀を江戸へ運ぶさい人の労役の仕組みなど興味が尽きなかったです。

記念講演に先立ち、実行委員会の丸山昭美会長が「歴史に学び今に生かしてゆきたい」とあいさつ。5ブロック別の事業内容や今後のイベントの日時、内容について担当者から説明がありました。なお、一連の400年記念事業は県の地域発元気づくり支援金が充てられています。

田子船地蔵で説明板の披露



丁寧に水平をとって説明板の設置

10月4日(火)、田子区の船地蔵尊で文化遺産説明板の設置セレモニーが開催されました。披露には、区役員10名ほどが出席しました。

この船地蔵は、大正時代まで干ばつの際に田子神社の湧き水に漬けて雨乞いをしたという言い伝えがあります。

文化遺産の説明板は、各区の協力のもと若槻地区全体で40箇所設置されました。

北国街道の歴史や若槻の文化遺産を多くの人たちに知っていただきたいと思えます。

北国街道開通400年記念事業の事業予算

説明板作製	1,260千円	看板40基作成
マップ印刷	1,890千円	1万部作成
パネル板作成	371千円	49枚作成
歴史探訪ウォーキング	100千円	参加費500円(200名)
ふれあいコンサート	180千円	出演料、出演者搬送
合計	3,801千円	うち県補助金 3,101千円